

～病院と皆様との架け橋～

杏雲堂

創刊記念特別号

院長挨拶

＜特集＞活動報告～連携の会～

＜連載＞

- Dr.コラム（内科：横江勇）
- とくする お薬の話（薬剤科：大谷道輝）
- 部門紹介～患者サポートセンター～
- 新入スタッフ紹介
- 竹重事務部長の“映画道”

～映画に描かれた病院を斬る～



神田駿河台で135年、地域とともに杏雲堂病院

医学の進歩に寄与し、医業をもって社会に貢献する

明治15年（1882年）初代院長 佐々木東洋

公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院



病院玄関前のあじさいが、
今年もきれいに咲きました

撮影：2017年6月12日

JR御茶ノ水駅から徒歩3分、
アクセス便利な杏雲堂病院。
都会のど真ん中でありながら、
落ち着いた雰囲気の空間で
診察を行っております。

公益財団法人佐々木研究所
附属杏雲堂病院は、東京都千代田区で130年以上の歴史
がある病院です。当病院は「医学の進歩に寄与し、医業をもって社会に貢献する」ことを理念として運営しております。

困った患者さんに良質で温かみのある医療を提供することを心がけています。杏雲堂病院の名前は、「中國の故事（神仙伝）」に由来します。これに感銘を受けた初代院長の佐々木東洋は、自分もこのような名医でありたいとの願いを込め「杏雲堂病院」と名付けました。

杏雲堂病院はこの地域の患者さんが、お住まいがある医療圏外へ入院する必要がないよう、2014年12月に地域包括ケア病棟を45床開設いたしました。

杏雲堂病院はこれからも皆様方から信頼される病院として頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

消化器外科では急性腹症（虫垂炎や胆石など）に対して、侵襲が少ない腹腔鏡手術力を入れています。依頼に対する迅速な対応と短い入院期間が大変に好評をいただいています。

また、肝臓がんに対する「無痛ラジオ波焼灼術」や子宮頸部異形成や子宮頸部初期がんに対する「光線力学療法」といったきわめて専門性の高い領域での治療も行つており、この領域でも高い評価を受けています。

中村俊夫（なかむら としお）
公益財団法人佐々木研究所 理事長
公益財団法人佐々木研究所附属 杏雲堂病院 院長

東北大学医学部を卒業後、30年近く呼吸器内科として診療を行い、大学生活の最後の10年間は総合診療医学講座の立ち上げに関わる。大学を定年退職後は200床の新設されたアミックス病院の院長を務め、その後は介護老人保健施設で勤務。この間に10年以上日本医療機能評価機構の評議会委員ならびにサバエヤーとして100近くの病院の審査の経験を持つ。医療・介護の両者の世界と病院審査の経験を生かして、現在は再び病院経営に携わっている。

【専門分野】総合診療内科/呼吸器内科
日本内科学会、日本呼吸器学会、日本老年病学会、日本化学会、医学博士
呼吸器内科専門医 聖マリアンナ医科大学客員教授
神奈川県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員
元日本プライマリ・ケア連合学会誌編集委員長
元Journal of General and Family Medicine編集委員長



当院“内科・リウマチ科”についてのご案内

内科・リウマチ科：横江 勇



お気軽にご相談にいらしてください。

内科・リウマチ科 新体制にてスタート

この度4月より、杏雲堂病院に新体制での、内科・リウマチ科が発足いたしました。

全く新たなSTARTとなるため、至らない部分もあるかとは思います、精一杯頑張る所存ですのでよろしくお願ひいたします。

近年医療の進歩に伴い、専門的な診療の細分化がなされていますが、一方において高

門的な診療による包括的医療の実現に各部門との連携強化

門的な診療の細分化がなされていますが、一方において高

薬は〇〇〇な水で飲んではダメ！？



～第一話～



大谷道輝（おおたにみちてる）：診療技術部長・薬剤科長

地域診療の窓口になれるよう精進いたしますので、お気軽にご相談ください。

薬は水で飲んでも効果に影響を与えることがあります。水で薬を飲む場合、2つのことに注意をしてください。

1つ目の注意は、水の種類です。最近はペットボトル入りの「ミネラルウォーター」を買っている人を多く見かけます。ミネラルウォーターに1つ目のお薬を飲むときは軟水を

選んでください。

水の温度も薬の効果に影響を与えます。水の温度と胃運動を調べた研究では、15℃の水を飲んだときには胃運動が低下します。4℃の水を飲んだ場合は胃運動の低下により、腸に送るまでの時間が30分程度遅くなります。これは温度の低い飲食を食べた場合、胃は体温と同じ温度になつてから食べた物を腸に送るためです。水道水は冬には10℃以下になることも多く、夏でも30℃を越えることはありません。昔から「薬は白湯で飲め」と言われているのは理にかなっている訳です。

薬は体温に近い温度の軟水で飲むようにしてください。

リウマチ性疾患はもちろん糖尿病を含む生活習慣病、倦怠感や浮腫み、持続する微熱など臨床診断が必ずしも明らかでなく、どこに紹介したら良いか判然としない症例も気兼ねなくご紹介ください。

診断がつきましたら、当科で治療可能な疾患については継続して治療に当たり、専門的な治療が必要と判断した際には、適切に各専門科にご紹介いたします。



横江 勇（よこえ いさむ）
杏雲堂病院 内科・リウマチ科長
日本内科学会認定医/日本内科学会専門医
日本医学放射線学会専門医/日本内科学会指導医
日本リウマチ専門医

近年医療の進歩に伴い、専門的な診療の細分化がなされていますが、一方において高

門的な診療による包括的医療の実現に各部門との連携強化

門的な診療の細分化がなされていますが、一方において高

特集：活動報告

近隣訪問看護ステーション様
居宅介護支援事業所様向け

2017年5月26日(金)

連携の会

近隣診療所様・クリニック様向け

2017年4月18日(火)

「医療連携のつどい」



写真上：
佐々木記念ホールでの
説明会

写真下：
ビストロ備前での
交流会

杏雲堂病院での レスパイト入院

【地域包括ケア病棟での受け入れ】

当院では、地域医療に貢献するため、平成26年12月より6階病棟に「地域包括ケア病棟」(45床)を開棟いたしました。

地域包括ケア病棟とは、急性期医療が終了した後、すぐに入院や施設へ移行することが不安のある患者さんに対して、医学的管理・看護・リハビリ等を行い、自宅や居住系介護施設等への復帰に向けて準備を行う病棟です。

このたび、当病棟においても、この地域で在宅療養されている患者さんのご家族を支援し、在宅医療を支えるために、レスパイト入院の受け入れを開始いたしました。

当院の地域包括ケア病棟での レスパイト入院の特徴と申込方法

【対象患者様】

退院後、ご自宅または居住系介護施設等に帰る方。褥瘡処置・たんの吸引・麻薬の管理・胃瘻・気管切開・点滴・在宅酸素を行っている方でもご利用可能。但し、状態が安定している方。医療保険の適応となります。

【入院期間】最長14日間(連続利用は出来ません)
【申込】ご希望入院日より1週間前まで。

申込書(当院ホームページよりダウンロード)
診療情報提供書を、当院患者サポートセンター宛
ファックスにてお申込みください。
(FAX: 03-3292-3376)

入院判定会議で検討し、翌日以降にご回答します。

地域医療を担う 皆様と共に

地域医療を担う

5月26日(金)18時より近隣の訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所等を対象とした「医療連携のつどい(2部構成)」を開催し、27施設(42名)の皆様にお集まりいただきました。第一部では、病院新体制のご報告、患者サポートセンターとレスパイト入院のご案内患者依頼手順のご説明をさせていただきました。第2部より、近くのフレンチレストラン(ビストロ備前)に会場を移し、情報交換会を開催いたしました。普段顔を合わせることのな

い退院調整部門の担当者が、皆様と互いに抱える課題等について、率直な意見交換を行うことができ、大変意義のある会となりました。

また、訪問看護ステーションの看護師さんより、直接当院医師と指示方法等についてお話しすることができ、「参加して本当に良かった」というご感想をいただくことができました。

在宅医療を担う皆様方との情報共有により、患者さんが地域で継続性のある適切な医療を受けられるよう、今後も「顔のみえる連携の会」を開催いたしますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。(地域連携室)

「医療連携懇親会」

顔の見える 医療連携を目指して

4月18日(火)19時より山の上ホテルにて、杏雲堂病院「医療連携懇親会」を開催し、30施設(34名)のご参加をいただきました。はじめに、中村俊夫院長より新体制をご紹介し、続けて神田医師会会長加賀先生による乾杯のご発声により、懇親会が開会しました。

地域医療に携わる先生方と

懇談の場を設け、相互に有する医療機能を理解し、質の高い医療環境を地域住民や患者さんに提供するため、これまで以上の緊密な医療連携を図ることを目的として開催いたしました。

1時間30分という短い時間ではありましたが、大変有意義な情報交換の場となり、ご参加いただいた先生方に感謝申し上げます。

(地域連携室)



①：開会挨拶
杏雲堂病院
院長 中村俊夫

②：乾杯
神田医師会
会長 加賀一兄先生

③④：なごやかムード
で情報交換

⑤：中締め挨拶
杏雲堂病院
副院長 坂本優



レスパイト入院とは

「介護者の病気や休息(※)」を理由に

在宅介護が困難となった患者さんに

一時的に入院していただく制度です

※ 介護疲れによる休息、

介護者の冠婚葬祭・入院等

千代田区在住の方の レスパイト(医療ステイ)入院

【特徴】 千代田区の在宅療養支援の一環

医療処置を必要とする患者様のご家族の事情により、在宅療養が一時的に困難になった場合にご利用いただけます。病室の差額ベッド料は区が負担します。(入院にかかる医療費、食事療養費、保険外利用分はご利用者様負担)

【対象患者様】 ①千代田区民 ②要介護・要支援の認定を受けている ③医療処置を必要としている ④介護保険施設の利用が不可能 ⑤ご本人の体調が安定している

【入院期間】最大7日間

【申込】ケアマネージャーを通して、千代田区指定の「申請書」及び「承諾書」に署名の上、千代田区在宅支援課相談係へご提出ください。(TEL:03-6265-6483)

新人スタッフ紹介



医師紹介

2017年1月～6月入職者

※ 外来診察時間は、2017年7月現在のもの

常勤医	麻酔科（部長） 横田 浩史（よまた こうじ） 外来： - （麻酔科標榜医）	常勤医	内科・リウマチ科（科長） 横江 勇（よこえ いさむ） 外来：月曜AM / 水曜AM
常勤医	麻酔科（医長） 林 雅子（はやしまさこ） 外来： - （麻酔科標榜医）	常勤医	内科・リウマチ科（医長） 唐澤 博美（からさわ ひろみ） 外来：木曜AM
常勤医	消化器外科（医員） 森中 孝至（もりなか たかし） 外来：月曜AM / 木曜AM / 第1土曜AM	常勤医	腫瘍内科（医員） 佐々木 政興（ささき まさおき） 外来：木曜AM・PM
常勤医	消化器外科（医員） 内 玲往那（うち れおな） 外来：火曜PM / 木曜PM	常勤医	婦人科（医長） 田部 宏（たなべ ひろし） 外来：火曜AM・PM / 第2.3.4土曜AM
常勤医	肝臓内科（医長） 近藤 祐嗣（こんどう ゆうじ） 外来：木曜AM		

スタッフ紹介

2017年4月～6月入職者

【看護部】

- ・滝沢 里奈：看護師(4/1入職)
- ・藤田 愛里：看護師(4/1入職)
- ・内山 奈穂：看護師(4/1入職)
- ・白鳥 優：看護師(4/1入職)
- ・中尾 彩香：看護師(4/1入職)
- ・進士 奈樹：看護師(4/1入職)
- ・大方 薫：看護師(5/1入職)

【リハビリテーション技術科】

- ・大館 春香：理学療法士(4/1入職)
- ・藤林 貴子：理学療法士(4/1入職)
- ・高橋 奈津子：作業療法士(4/1入職)

【患者サポートセンター】

- ・山下 宜信：MSW(5/1入職)
- ・湊 真帆：MSW(5/8入職)

【総務課】

- ・佐々木 泰司：総務課長(6/1入職)

【薬剤科】

- ・大谷 道輝：薬剤科長(4/1入職)
- ・松元 美香：薬剤師(4/1入職)
- ・阿藤 友美：薬剤師(4/1入職)
- ・徳留 雄太：薬剤師(4/1入職)

【栄養管理科】

- ・重松 類：管理栄養士(4/1入職)
- ・村上 聖幸：調理師(6/12入職)

新しい仲間が増えました
スタッフ一同頑張ります！



部門紹介
File-1

患者サポートセンター



患者サポートセンター

(入院受付・患者相談・地域連携)

スタッフ一同一丸となり
真心こめてサポートしています

「患者サポートセンター」とは、どんな部門ですか？

患者さんが安心して療養生活や社会生活を過ごせるよう、サポートを行なう部門です。

『前方支援』として、「入院係」が入院調整・説明業務を行い、「地域連携室」が、地域連携医療機関・施設との連携業務を行っています。

『後方支援』としては、「退院支援室」の看護師が、退院調整や在宅復帰・転院医療支援を行うと共に、「患者福祉相談室」のMSWが、福祉相談や心理的・経済的問題解決業務を行なうだけ両者がタイアップして退院支援が円滑に進むように、協力・連携することを心がけています。

また、「患者医療相談室」は、「医療安全管理室」と連携しながら、医療相談や苦情相談を行なっています。今年度より、MSWや地域連携室員の増員を図り、体制をさらに強化いたしました。全メンバーが、同じ事務室内で作業を行なっておりますので、密に情報共有を行なうながら、力を合わせて真心こめて、サポート業務に励んでおります。

スタッフ一同頑張りますので、よろしくお願いします！



概念図





今年の年明け、1月に就任しました事務部長の竹重敦と申します。

旧社会保険病院を中心に様々な病院の現場を経験し、この杏雲堂が7つめの病院となります。社会保険病院の本部での経験も含め、30年以上の病院経営と現場での経験を活かし、当院の発展を自らの集大成と位置づけ、ベストを尽くして頑張る所存です。よろしくお願ひします。

今回は病院経営やマネジメントとは全く別の話です。私は自分でも驚くほど多趣味人間で、先ずは音楽。合唱団の指揮者なんです。自ら創設した東京フリューゲルという合唱団をかれこれ20年近く率いています。合唱に限らずクラシック音楽の熱烈な愛好家で、CDはざつと3万枚近く。家中がCDで埋もれています。ジャズも好きですよ。その音楽よりももっと好きかもしれないのが映画。一日に一本、映画を観ないと寝られません。ということ、毎日が睡眠不足。他にも歴史研究や読書が襄り掛かってきて、寝ている時間がありません。今まで色々な雑誌に映画評論やCD紹介の雑文を連ねてきましたが、この「杏雲堂」でも、連載を始めることになりました。

ご期待ください！



題して「映画に描かれた病院を斬る！」

本職の病院経営と趣味の映画を合体させるという欲張りな企画。

いや、向こう見ずな無謀な企画と呼ぶべきでしょうか？！

医療や病院を描いた映画は数多く作られています。そのほとんど

はカリスマ天才医師、特に外科医がブラックジャックばかりにその力量を發揮して患者の命を救う感動譚、あるいはヒロインが不治の病で亡くなつていくお涙頂戴もの。新人看護師が先輩のいじめにも屈せず奮闘するなんていうのが定番ですよね。

今後の予定

2017.9予定

乳がん公開講座（対象：近隣区民）

2017.8.2（水）18:00～19:00 杏雲ビル2階 佐々木記念ホール

第1回 症例検討会（対象：地域医療従事者）

第1部「がん患者さんのリハビリテーション」 演者：澁谷大介（OT）

第2部「化学療法抵抗性の若年性乳癌～終末期医療を中心に～」

演者：佐々木政興（腫瘍内科医師）

<編集後記>

広報誌「杏雲堂」の編集長を拝命いたしましたサイカワです。紙面レイアウト/デザイン/イラスト描き/編集・・・等々、素人ながらも色々やらせていただき大変勉強になりました。趣味が活かせる日が訪れましたよ。創刊記念特別号はいかがでしたか？編集委員一同気合を込めた一作目です。ご意見ご感想いただけますと、やる気がモリモリ湧いてきます。今後、定期的に発行予定ですのでよろしくお願ひします！（サイカワ）

杏雲堂 創刊記念特別号

発行：杏雲堂病院 広報委員会

発行日：2017年7月31日

公益財団法人佐々木研究所附属

杏 雲 堂 病 院

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-8

TEL：03-3292-2051（代表）



最新情報は公式HPへ

[URL] <http://www.kyoundo.jp/>



杏雲堂病院

検索

外来のご予約

外来予約センター電話番号

03-3292-2058（直通）

受付時間

月～金・9:00～17:00

土・9:00～12:00

検診のご予約

検診センター電話番号

0120-132-051（フリーダイヤル）

03-3292-0551（直通）

受付時間

月～金・13:00～16:00

患者さんご紹介等

地域連携室連絡先

TEL: 03-3292-2054（直通）

FAX: 03-3292-1300（直通）